

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	多機能型 こどもデイサービスぼっぼ		
○保護者評価実施期間	令和6年11月12日		令和6年11月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業員評価実施期間	令和6年11月20日		令和6年11月27日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年12月12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	社会福祉法人の為、他施設との共用のグラウンド・遊具で遊んだり、広い室内空間を借りることができ、環境・体制面で恵まれている。	毎日、天候を考慮しながら外に出る機会を作り、ご自宅では出来にくい自転車の練習、ボール遊び、鬼ごっこ等を思いっきりしている。	・近所への散歩を通して、交通安全に気を付けることが出来るようにしていく。 ・公共の施設を利用し、公共マナーも学ぶ機会を増やす。
2	適切な療育支援を行えるように、チームで支援方法の見直しや、研修を行っている。	・毎日の振り返りで、不適切な支援は無かったか？効果的な支援があった、等を共有し日々研鑽している。 ・研修内容は職員全員が受けられるように、動画等や事業所内研修にて周知している。	スーパーバイザー等に依頼をし、助言を頂き支援に反映していく。
3	放課後等デイサービスでの様子を、送迎時やSNS等を通じて保護者へ伝えており、情報共有が出来ている。	日々、良いことも悪いこともお伝えできるように、保護者との信頼関係や環境の構築を行っている。家庭や学校での様子と違い戸惑う保護者も多いが、後々同じような行動が家庭や学校でも出てくる場合がある為、誠実に対応している。	保護者との信頼関係を構築するために、ファミリーサポート(モニタリング時に父親同席等)を充実させていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	基準内の広さではあるが、発達支援室が狭く感じる。	10名定員だったが利用希望者が多く、4年間15名定員に増やしていた為、無理があった。	来年度より10名定員に戻す為、少し余裕ができると思う。また、個室が1部屋の為1人で過ごせる空間を、間仕切りや小デント等を活用して居心地の良い場所を用意する。
2	利用希望者が多く受け入れが困難である。	臼杵市内に放課後等デイサービス事業所が少なかった。	臼杵市内に放課後等デイサービス事業所が増えつつある為、受け入れ先が広がってくると思う。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 多機能型 こどもデイサービスぽっぽ

公表日 R 7年3月29日

利用児童数 20名 回収数 18名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	1	2	2		室内は基準は満たしていますが、15名定員の為、手狭になりご不便をお掛けしております。グラウンドや公園、他施設の多目的広場などを利用して活動に支障が無いようにしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14	1	1	2		指定基準に定められる人員配置以上の人数を配置して支援を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	5		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16	0	0	2		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	1	0	2	個別の時の取り組みやねらい、様子（楽しく取り組んでいました、も嬉しいのですが、こういうことができた/できなかった/今後の狙いなど）を聞けるとありがたいと思います。	言語聴覚士による個別活動の内容については、保護者へわかるように経過をお伝えしていく必要があると感じました。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	0	0	13		まだ未作成の為、「わからない」との回答を保護者にお願ひしました。支援プログラムは今年度中に公表予定です。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	1	0	0		保護者の方に「目標そのものが全部当てはまります。」と言われると嬉しくなります。目標を掲げるだけではなく、少しずつ達成できるようにしていきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1	0	1		「本人支援」「家族支援」「移行支援」で示す支援内容もR6年10月より始まったばかりですのでこれからより良い支援になるように磨きをかけていきたいです。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	1	日々何をしたか（外で遊んだ、等）は伝達を頂いており、また、計画もご説明頂いていますが、日々の取り組みの様子や計画のつながりはあまりお伺いする機会がないので、わからないとさせていただきます。	計画との繋がりは、半年に1度のモニタリングの際にお伝えしているが、保護者には伝わっていないことがわかった。目標に対しての日々の取組等をわかりやすく伝えていけるように努めます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2	0	2		行事等は毎年固定化されてしましますが、内容等は吟味して良い物へ変えていく予定です。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	5	5	いつも、ありがとうございます。日々、安心して子供を預ける事が出来ていることに感謝しありません。	コロナ等で控えていましたが、来年度は他の児童クラブとの交流を検討予定です。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	0	0	0		契約時にお伝えしています。変更点があった際はその都度、文面でお知らせしています。	
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	0	0		半年に一度、モニタリングの際にぽっぽの様子をお伝えしています。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	0	6		きょうだい支援や、ペアレントトレーニングを専門的に出来るように、スキルアップ研修が必要だと感じます。	

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	3	0	0		送迎時やライン等でぼつぼつの様子をお伝えしています。受診の内容や学校の様子も教えて頂き、担当者会議等で共有できればと思います。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17	0	0	1		半年に一度、面談を行い担当者会議等で話す機会を設けています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	2	0	1		これからも、保護者や子どもに寄り添い共感的に支援を行えるように努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	3	6	・家族やきょうだいの交流は今までになかったのといえにしました。事業所の中の事は見る機会もなくわからないので、わからないの回答にしました。本人から事業所の出来事話す事は出来ないで、事業所の方からトイレに何時に行ったや、どんなおやつを食べたなど教えてもらえるのが有難いです。 ・父母の会というものがあるのも知らなかったで回答はわからないになりました。活動のスペースが、子ども達が多い時には狭いかなと感じます。男の子で活発に動くので、室内でも身体を沢山動かせるスペースがあると、すごく有難いなあと感じます。	保護者の会が、法人内の相談支援事業所にて毎月行われており、毎月発行している「かわらばん」内でもお知らせはしていますが、保護者によっては知らない方もいらしゃったので、周知していくことの必要性を感じました。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	1	0	2		契約時や、相談の都度、伝えてはいますが周知されていないと感じるので、毎年のモニタリング時にお伝えするようにします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	0	1		毎月、通信やSNS等で活動内容等を発信しています。保護者にも好評です。自己評価の結果もラインやHPにて発信しています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1	0	10	・満足しています。いつも、ありがとうございます。いつも丁寧な支援をして頂きありがとうございます。防災や災害が起こった時などの訓練や備えについて、支援以外の安全確保の面がよくわかりませんでした。 ・実際にはわかりません。	事業所では、事故防止、緊急対応、防犯、感染症対応マニュアル等が策定されていますが、保護者に詳しく説明をしていない為、知らない方が多かったです。避難訓練も年に2回ほど行っているのですが、わかりやすくモニタリング時にお伝えします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	9		避難訓練を年に2回行っています。また、食品等の備蓄もしています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	2	0	3	事故が起こったことが無いので、わかりません。	契約時に緊急時の対応はお伝えしていますが、毎年お伝えしない為、半分の保護者の理解が得られていませんでした。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	1	0	0	・学校と家庭との間で本人の落ち着ける楽しい場所になっています。ありがとうございます。利用できる日が増えるとうれしいです。 ・いつも楽しく通所しています。	保護者が共働きのご家庭が多く、祖父母の負担も大きくなり、利用の調整が難しい場合があります。児童クラブを利用できない方を優先し、利用調整を行っています。ご了承ください。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16	2	0	0		いつも、保護者の方々のご協力ありがとうございます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 多機能型 こどもデイサービスぽぽ

公表日 R7年 3月 29日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	基準は満たしているが、外で遊んだり、ユニットハウスを利用したりしている。	・利用人数や過ごし方によって窮屈さを感じる。 ・一人当たりの遊ぶスペースが狭いと思う。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3	職員は余裕を持って配置している。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	多目的トイレの設置、段差も少ない。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	3	毎日、消毒や清掃を行っている。	個室がもう少しあればいいと思う。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	個室はあるが、一部屋で利用が限られる為、デントなどを利用している。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	常勤職員のみで目標設定等を行い、非常勤の職員には結果を読んでもらっている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	長期休暇中の送迎時間の要望には、職員の配置等の関係で応えられない。その他の要望は真摯に受け止めて業務に反映できるように努めている。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎年、面談を行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	・非常勤の方にも、動画で研修を行い感想等の記録を行っている。 ・自力で見つたり会社の研修を受けるなどしている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	0	9	公表前である。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	契約時や、モニタリング時に随時確認している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	ミーティング等で共通理解を得ている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	ミーティング等で共通理解を得て、計画に沿って毎日の支援を行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	毎日の記録をとり、行動観察を行っている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	始まったばかりの計画ではあるが、元々行っていた支援ではあるのが具体的に設定している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	4	活動内容について話し合っている。	毎回の活動内容は、相談しながらではあるが個々で立案している。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	活動にマンネリや偏りがないように工夫している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	言語聴覚士が個別活動を行っている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	・15名定員の為、それぞれに担当を付けている。 ・毎日、チャットでも引継ぎを行っている。	送迎などがあり全員が揃って共有できる時間が取りにくい。
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	4	勤務時間がそれぞれ違うため、翌日朝に引き継ぎにて振り返りを行っている。 引継ぎが出来ない場合は、後日行っている。	各職員間では引継ぎできていても全体に周知させるとなると難しい場合がある。	
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	担当利用者の様子をメモし、毎日の記録をパソコンで行っている。		
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しが必要かを判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	半年に1回、モニタリングや計画の見直しを行っている。		
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7	2			
25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	2	折に触れて、選択する機会を作っている。		

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	7	2	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	2	担当者会議、ケース会議、訓練の見学等で連携を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	電話連絡やメール、FAX等で行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	2	最初の方に、困りがある場合はすぐに連絡をして、情報共有を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	4	・対象が小学生なので、それ以降の情報提供は法人内の別事業所が対応している。・自事業所より、年齢が上の学年が利用している放課後等デイサービス事業所に移行する際は、情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	支援に行き詰った際は、助言を頂いている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	4		コロナも落ち着いてきたので、いざ行ってみよう。
	33	（自立支援）協議会等積極的に参加しているか。	6	3	毎月、自立支援協議会の児童部会に出席している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	保護者に送迎時や電話やライン等で、様子をお伝えし改善点等を相談している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5	お困りの保護者に対して、自事業所の有効な支援方法をお伝えしている。	ペアレントトレーニングについて、勉強不足である。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時にお伝えしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	契約時、モニタリング時、その他随時にお聞きしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	契約時、モニタリング時にお聞きしている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	保護者の悩みには寄り添い、必要であれば助言等を行っている。	助言等をする時もあるが伝え方、助言のタイミングなどわからないことも多い。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	事業所として開催はしていないが、同法人内の相談支援事業所がサポートしている親の会があり、その案内はしている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情が出た場合は、毎月行っている第三者委員会に提出し審議している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	毎月、お便りを発行し毎日の活動内容を載せている。インスタグラム等のSNSも積極的に写真等をあげている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	・契約書等は希望の方にはルビ付きを準備している。・絵カード等のコミュニケーションツールを利用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	2	法人内のイベントとしてドリームフェスタ、カラフルカフェがあり、ボランティアも受け入れている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1		保護者への周知が出来ていない。今後行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	年に2回、地震や火災等の想定で避難訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	契約時に確認し、モニタリング時に再確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	アレルギーのある方は、事前に保護者にも確認をし、その都度わからない場合は聞いている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	救急救命法等の研修を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2		保護者への周知が出来ていない。今後行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	簡易にヒヤリハットの入力や、確認が出来るようにタブレットで共有している。	ヒヤリハット事業の報告が少なく、チェックもばらつきがある。危険なものは共有できている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	毎年研修会に参加し、不参加の場合は動画研修を行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	契約時や、モニタリング時に随時確認している。	